

一般財団法人 福岡コンベンションセンター

所管事務調査説明資料

目 次

		ページ
第1章	一般財団法人福岡コンベンションセンターの概要	
1	名称、設立年月日、所在地	1
2	設立目的	1
3	事業内容	1
4	管理施設の概要	1
5	基本財産	2
6	運用基金	2
7	組織及び役職員数	3
8	役員及び評議員名簿	4
第2章	令和2年度決算状況	
1	事業報告	5
2	貸借対照表	12
3	正味財産増減計算書	15
4	財務諸表に対する注記	21
5	附属明細書	22
6	財産目録	23
7	収支計算書	25
8	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	25
9	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	25
第3章	令和3年度事業計画	
1	事業計画	26
2	収支予算書	30

令和3年7月20日

経済観光文化局

第1章 一般財団法人福岡コンベンションセンターの概要

1 名称、設立年月日、所在地

- (1) 名称 一般財団法人 福岡コンベンションセンター
- (2) 設立年月日 昭和54年10月1日
- | | |
|-------------|----------------------|
| ※昭和54年10月1日 | 財団法人福岡国際センター設立 |
| 昭和56年10月15日 | 福岡国際センター開館 |
| 平成6年4月1日 | 財団法人福岡総合展示場と改称 |
| 平成7年8月24日 | マリンメッセ福岡A館開館 |
| 平成15年3月3日 | 福岡国際会議場開館 |
| 平成15年4月1日 | 財団法人福岡コンベンションセンターと改称 |
| 平成18年4月1日 | 第1期指定管理者として施設運営 |
| 平成21年4月1日 | 第2期指定管理者として施設運営 |
| 平成25年4月1日 | 一般財団法人へ移行 |
| 平成26年4月1日 | 第3期指定管理者として施設運営 |
| 平成31年4月1日 | 第4期指定管理者として施設運営 |
- (指定管理対象施設：福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡A館)
- 令和3年4月1日 マリンメッセ福岡B館開館
(指定管理対象施設にマリンメッセ福岡B館が追加)
- (3) 所在地 福岡市博多区石城町2-1 (福岡国際会議場内)

2 設立目的

コンベンション施設の利用促進につとめ、地域経済の活性化、学術文化の振興及び国際交流の推進を図り、もって福岡市の国際経済文化都市としての確立を目指すとともに、住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

3 事業内容

- (1) 国際会議・国内会議、内外見本市、展示会並びに文化、スポーツ等各種催事の開催又は開催協力に関する事業
- (2) コンベンションに係る情報の収集、提供等に関する事業
- (3) 前各号の事業の用に供するコンベンション施設の管理及び運営に関する事業
- (4) その他目的達成に必要な事業

4 管理施設の概要

- (1) 福岡国際会議場〔平成15年3月 開館〕
- | | |
|------|--|
| 所在地 | 博多区石城町2-1 |
| 規模 | 地上5階 (一部6階) |
| 敷地面積 | 10,251平方メートル |
| 延床面積 | 24,885平方メートル |
| 主要施設 | メインホール、多目的ホール、国際会議室、中・小会議室、
・ホール機能 最大収容人数 3,000人
※メインホール、多目的ホールを一体利用した時の収容人数 |
| 建設費 | 約100億円 |
| 所有者 | 一般財団法人福岡コンベンションセンター
(福岡市へ無償貸与し、公の施設として位置付け) |

- (2) マリンメッセ福岡A館〔平成7年8月 開館〕
 所在地 博多区沖浜町7-1
 規模 地上4階、地下2階
 敷地面積 28,191平方メートル
 延床面積 40,631平方メートル
 主要施設 多目的展示室
 ・展示機能 展示面積 1階 約8,000平方メートル
 2階 約1,100平方メートル
 ・アリーナ機能 200メートルトラック及び100メートル直線確保
 ・ホール機能 最大収容人員 約15,000人
 駐車場台数 1,360台 (※エキシビジョンパークを除く)
 建設費 約297億円
 所有者 福岡市
- (3) マリンメッセ福岡B館〔令和3年4月 開館〕
 所在地 博多区沖浜町2-1
 規模 地上2階
 敷地面積 17,455平方メートル
 延床面積 11,430平方メートル
 主要施設 多目的展示室
 ・展示機能 展示面積 約5,000平方メートル
 ・ホール機能 最大収容人員 約6,000人
 建設費 約72億円
 所有者 福岡市
- (4) 福岡国際センター〔昭和56年10月 開館〕
 所在地 博多区築港本町2-2
 規模 地上3階、地下1階
 敷地面積 17,094平方メートル
 延床面積 14,243平方メートル
 主要施設 展示ホール
 ・展示機能 展示面積 1階 約3,400平方メートル
 2階 約1,600平方メートル
 ・ホール機能 最大収容人員 約10,000人
 駐車場台数 165台
 建設費 約38億円
 所有者 一般財団法人福岡コンベンションセンター

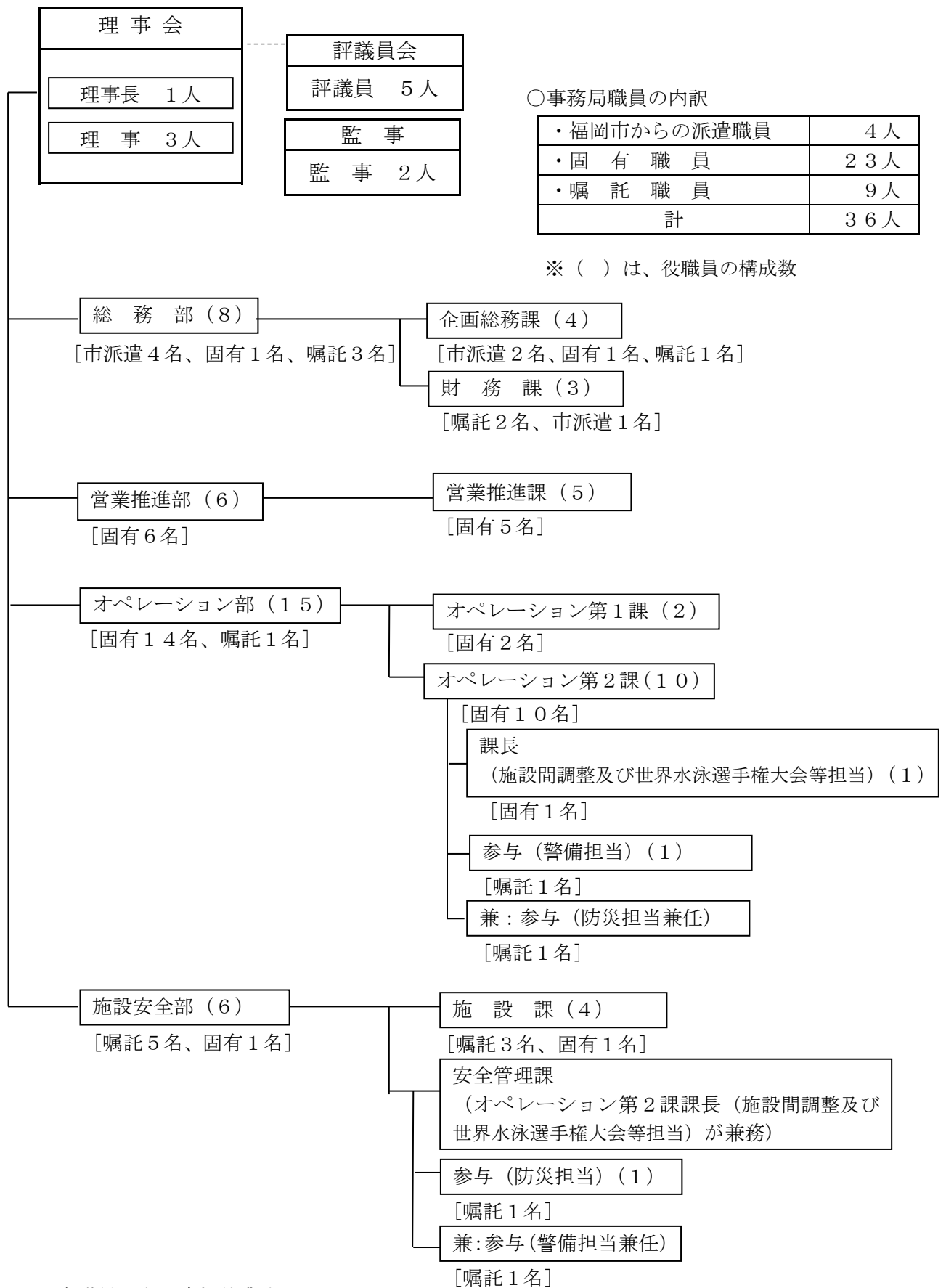
5 基本財産

200,000千円 (福岡市185,000千円 92.5%)

6 運用基金 (福岡国際センター設立時に設けた基金)

300,000千円 (福岡市100.0%)

7 組織及び役職員数（令和3年7月1日現在）



※固有職員1名は育児休業中

8 役員及び評議員名簿（令和3年7月1日現在）

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事長	小野田 勝 則	令和3年6月28日	(常勤)
理 事	天 本 俊 明	令和3年6月28日	福岡市 経済観光文化局長
理 事	内 村 芳 郎	令和3年6月28日	九州電力株式会社 上席執行役員
理 事	高 島 収	令和3年6月28日	公益財団法人福岡観光コンベン ションビューロー 専務理事
監 事	中 村 郁 子	令和3年6月28日	福岡市 会計管理者
監 事	成 瀬 岳 人	令和3年6月28日	株式会社福岡銀行 執行役員
評 議 員	魚 住 俊 治	令和3年6月28日	公益財団法人福岡市スポーツ協会 副会長
評 議 員	境 正 義	令和3年6月28日	福岡商工会議所 専務理事
評 議 員	清 家 敬 貴	令和3年6月28日	福岡市 港湾空港局長
評 議 員	田 代 雅 彦	令和3年6月28日	九州産業大学 地域共創学部観光学科 教授
評 議 員	長 尾 成 美	令和3年6月28日	一般社団法人九州経済連合会 専務理事

第2章 令和2年度決算状況

1 事業報告

(1) 概要

一般財団法人福岡コンベンションセンター（以下「財団」という。）が管理する各施設の令和2年度における利用状況については、利用率が福岡国際会議場 31.8%、マリンメッセ福岡A館 14.7%、福岡国際センター20.3%、入場者数は3施設合計で約19万人となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度を大きく下回ることになり、財団経営にも大きな影響を及ぼしている。

令和2年5月から供用開始した第1駐車場については、各施設の来場者が円滑に利用できるよう取り組んだ。

また、マリンメッセ福岡B館の整備については、福岡市と一体となって工事に伴う安全対策、新施設の広報PR及び利用希望受付等を行った。

今後とも、新型コロナウイルス感染拡大による催事開催への影響が見込まれる中で、MICEを取り巻く環境は厳しい状況下にあるが、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用率の回復、顧客満足度の向上に努め、安定的な経営基盤の強化に向けた取組みを進めていく。

(2) MICEの戦略的な誘致・営業

① 国際会議・学術会議の誘致

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、九州大学をはじめとした県内各大学及び国内外への訪問営業の機会が激減したが、オンラインによる面談等を通じて積極的に情報収集や営業活動に努めた。その結果、「ISB(International Society of Biomechanics)2023 Congress」(2023年7月)、「日本小児看護学会第32回学術集会」(2022年7月)、「全国IE年次大会」(2022年7月)、「第20回日本臨床腫瘍学会学術集会」(2023年2月)、「日本国際政治学会研究大会」(2023年11月)等の国際会議・学術会議の誘致に成功した。

福岡市及びコンベンションビューローと共同運営をする Meeting Place Fukuoka（以下「MPF」という。）において、日本政府観光局が主催する国際会議海外キーパーソン招請事業「オンライン Meet Japan」に参加し、コンベンションゾーン及びマリンメッセ福岡B館の開業を英語で紹介する動画を制作し、世界中に発信した。また、福岡国際会議場から配信されたMICE主催者向けの観光コンテンツ体験ツアー「オンラインFAMトリップ」では、福岡市の魅力やコンベンションゾーンを含めた会議施設等を日本語・英語・中国語の3言語のライブ配信で紹介し、世界14か国で視聴されるなど、オンラインを活用した営業活動を取り入れた。

② 新規・重点分野の催事の誘致・営業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全ての分野において開催の自粛が続く中ではあったが、地場産業の振興への寄与が期待される福岡市のMICE戦略における重点分野（新産業／クリエイティブ産業／医療・医学／スポーツ／食／アジア）は積極的に営業活動を行った。

医療・医学分野においては、3施設を利用する「第74回日本産科婦人科学会学術講演会」(2022年8月)、クリエイティブ産業においては、「ポケモンカードゲーム チャンピオンズリーグ 2022 福岡」(2021年11月)などの誘致に成功した。

③ リピーターの流出防止・定着化

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度はリピーターを含めた多くの催事が中止・延期となったが、今後も引き続き利用していただけるように令和3年度及び令和4年度の日程調整を早めにアプローチし、流出防止に努めた。

また、マリンメッセ福岡A館及びB館、福岡国際センターにおいて、第19回FINA世界水泳選手権福岡大会が2022年に延期されたことにより、その期間に利用を予定していたリピーター等が利用できなくなったため、他会場の斡旋等きめ細かな対応を行いながら、再び財団管理施設を利用していただけるよう流出防止と定着化を図った。

④ 福岡国際会議場の中・小会議室の利用促進

コロナ禍における施設利用条件に合致したレイアウトの提案やオンライン機材等を紹介するとともに、国や福岡市が実施する各種支援策を主催者へ情報提供し、利用促進に努めた。

(3) 運営サービスの向上

新型コロナウイルス感染予防対策として、国及び福岡県の指針に基づいた施設利用ガイドラインを策定し、安全・安心に催事が開催できるように努めた。

催事主催者へは、各催事の特徴などを踏まえながら、安全に配慮したレイアウトの提案、非接触型体温計及び飛沫防止アクリル板の無料貸出し、福岡市が実施するMICEハイブリッド開催支援、安全対策支援助成金の情報提供等、利用者の立場に立った対応を行った。

来場者へは、施設入口にサーマルカメラの設置、ロビー等の共用部に手指消毒液の設置、床・壁面に注意喚起の貼り紙の掲示等を実施し、感染予防対策に努めた。

また、コロナ禍における福岡市の支援事業である「安全安心に配慮したモデルイベント」では、駐車場を活用した屋外コンサートにおいて、企画調整から実施まで協力体制を整え、新しいスタイルの催事を支援した。

さらに、大規模催事の開催においては、コロナ禍に配慮した来場者の誘導・案内などの支援を行い、主催者のサポートを行った。

(4) 施設の維持管理

経年に伴う老朽化に適切に対応して、施設の維持管理と安全性の確保を図るとともに、利用者に快適で利便性の高い施設を提供できるよう、各施設の保守管理、改修等を行った。

保守管理は、施設・機器等について専門の委託業者等による日常・定期点検の的確な履行、実施内容の確認を徹底し、予防保全に努めた。

また、改修等については、長期保全計画に基づき設備機器更新や施設環境の改善を計画的に実施した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入減を鑑み、計画していた修繕等の一部先送りや維持管理経費の節減を行った。

(5) 安全対策・危機管理対策

日頃から、施設設備の点検や催事の主催者等へ施設利用方法の指導を徹底するなど、安全対策に努めた。

3施設において、防災センター職員等を含めた地震及び火災を想定した避難・消火活動等の防火・防災の研修及び訓練を2回ずつ実施した。

また、危機管理対応マニュアルに新型コロナウイルス感染症への対応及び高潮発生時の対策を追加するとともに、財団職員、防災センター職員等を対象に高潮発生を想定した研修及び訓練を実施した。

さらに、防災管理者等の資格取得や救急救命講習の受講などにより、職員等の防災知識・技術の向上を図った。

(6) マリンメッセ福岡B館の工事に伴う安全対策等

令和元年度よりマリンメッセ福岡B館の整備が進められていたが、マリンメッセ福岡A館をはじめ、既存の施設の来場者の安全を確保するとともに、利便性を損なわないよう施設への動線確保及び適切な案内・誘導など、福岡市及びPFI事業者と連携し安全対策に取り組んだ。

(7) 第1駐車場の供用開始に伴う利用者の利便性向上

令和2年5月第1駐車場が供用開始したため、3施設で開催される催事における調整を図り、適切に運営するとともに、ホームページに新たに駐車場の空き情報や混雑予想情報等の発信を行い、利用者サービスの向上を図った。

(8) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた取組み

新型コロナウイルス感染症の感染予防をしながら催事を開催するために、次のとおり取り組んだ。

- ① 施設入口にサーマルカメラを設置し、入館時の検温を実施
- ② 施設入口を限定し、アルコール消毒液の設置
- ③ 利用者にホームページや施設内の掲示で感染予防等対策の呼びかけ
(手洗い、咳エチケット、検温、マスク着用等の感染予防の徹底)
- ④ 福岡コンベンションセンターの職員及び施設管理を行う委託業者についても、感染予防等対策を実施
(手洗い、咳エチケット、毎朝の検温、マスク着用等の感染予防の徹底)
- ⑤ 催事的主催者に最大収容人員数の遵守、人と人との間隔の確保、マスク着用の義務付け、発熱や体調不良のある場合の入場制限を依頼
- ⑥ 催事種別ごと(会議・展示会・コンサート)のガイドラインを作成し、催事種別ごとに感染症対策の指示・指導を実施
- ⑦ 催事後、施設の手すり、ドアノブ、エスカレーター、エレベーター等の不特定多数の者が触る部分について適宜消毒を実施
- ⑧ 福岡国際会議場の換気量増加に伴う空調設備強化

なお、令和2年2月21日以降、同感染症拡大防止のため、施設利用の取り止めを行った場合は、納付済みの施設利用料金の返金を実施している。

【福岡国際会議場の利用状況等】

区 分	利用室数	利用率
多目的ホール (4室)	412室	34.9%
メインホール (1室)	61室	20.6%
国際会議室 (1室)	91室	30.8%
合 計 (6室)	564室	31.8%
中・小会議室 (18室)	1,597室	30.0%

* 緊急事態宣言の発出に伴い令和2年4月4日から5月17日までの44日間は休館

* 利用率（合計） 31.8%（利用室数 564室/利用可能室数1,770室）

（年間利用可能室数1,770室＝6室×295日：年365日－休館日等70日）

* 利用率（中・小会議室） 30.0%（利用室数 1,597室/利用可能室数5,310室）

（年間利用可能室数5,310室＝18室×295日：年365日－休館日等70日）

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用の割合	
				日 数	人 数
国際会議	- 件	- 日	- 人	- %	- %
国内学術会議	18件	46日	2,332人	8.4%	3.3%
国内一般会議等	367件	448日	57,303人	82.1%	81.1%
展 示 会	17件	39日	6,482人	7.1%	9.2%
コンサート・興行	10件	13日	4,540人	2.4%	6.4%
合 計	412件	546日	70,657人	100.0%	100.0%

【マリンメッセ福岡 A 館の利用状況等】

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用の割合	
				日 数	人 数
展 示 会	4 件	11 日	28,846 人	25.0%	39.5%
会議・集会	10 件	19 日	13,913 人	43.2%	19.1%
アマチュアスポーツ	- 件	- 日	- 人	- %	- %
コンサート・興行	6 件	14 日	30,220 人	31.8%	41.4%
合 計	20 件	44 日	72,979 人	100.0%	100.0%

* 緊急事態宣言の発出に伴い令和 2 年 4 月 4 日から 5 月 17 日までの 44 日間は休館

* 利用率 14.7% (44 日/298 日 : 年 365 日 - 休館日等 67 日)

【福岡国際センターの利用状況等】

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用の割合	
				日 数	人 数
展 示 会	10 件	33 日	30,880 人	55.0%	63.8%
会議・集会	11 件	18 日	8,782 人	30.0%	18.1%
大 相 撲	- 件	- 日	- 人	- %	- %
アマチュアスポーツ	2 件	3 日	1,845 人	5.0%	3.8%
コンサート・興行	5 件	6 日	6,910 人	10.0%	14.3%
合 計	28 件	60 日	48,417 人	100.0%	100.0%

* 緊急事態宣言の発出に伴い令和 2 年 4 月 4 日から 5 月 17 日までの 44 日間は休館

* 利用率 20.3% (60 日/295 日 : 年 365 日 - 休館日等 70 日)

(9) 理事会の開催状況

会議名	開催日	内 容
令和2年度 第1回理事会	令和2年4月1日 ※決議の省略	理事の推薦について 監事の推薦について 評議員会の開催について
令和2年度 第2回理事会	令和2年6月12日 ※決議の省略	令和元年度事業報告及び決算について 公益目的支出計画実施報告書について 役員報酬の削減について 評議員候補者の推薦について 評議員会の開催について
令和2年度 第3回理事会	令和2年10月29日	令和2年度事業計画の変更について 令和2年度補正予算（案）について
令和2年度 第4回理事会	令和2年12月23日	令和2年度補正予算（案）について 評議員候補者の推薦について 評議員会の開催について
令和2年度 第5回理事会	令和3年3月19日	令和2年度補正予算（案）について 令和3年度事業計画（案）について 令和3年度予算（案）について
令和2年度 第6回理事会	令和3年3月30日 ※決議の省略	理事の推薦について 評議員候補者の推薦について 評議員会の開催について

(10) 評議員会の開催状況

会議名	開催日	内 容
令和2年度第1回 臨時評議員会	令和2年4月1日 ※決議の省略	理事の選任について 監事の選任について
令和2年度 定時評議員会	令和2年6月29日 ※決議の省略	令和元年度決算について 評議員の選任について 役員報酬の削減について
令和2年度第2回 臨時評議員会	令和2年12月24日 ※決議の省略	評議員の選任について
令和2年度第3回 臨時評議員会	令和3年3月30日 ※決議の省略	理事の選任について 評議員の選任について

* 上記(9)(10)表中の「※決議の省略」とは、いわゆる書面決議のことであり、定期の役員選定などについて実施しているものである。

事業計画や予算・決算などの重要事項については、会議開催により決議しているが、令和2年度第2回理事会及び令和2年度定時評議員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、決議の省略を行った。

2 貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	693,610,118	1,194,911,973	△ 501,301,855
未収金	138,218,601	25,159,112	113,059,489
前払金	8,132	14,840	△ 6,708
前払費用	3,663,951	1,387,395	2,276,556
流動資産合計	835,500,802	1,221,473,320	△ 385,972,518
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
運用基金	300,000,000	300,000,000	0
退職給付引当資産	95,853,785	87,184,798	8,668,987
減価償却引当資産	540,853,865	553,140,865	△ 12,287,000
経営調整積立資産	0	392,487,288	△ 392,487,288
修繕等積立資産	3,864,544,161	4,050,275,421	△ 185,731,260
特定資産合計	4,801,251,811	5,383,088,372	△ 581,836,561
(3) その他固定資産			
建物	4,967,375,801	5,147,025,193	△ 179,649,392
建物付属設備	1,096,613,028	1,170,944,935	△ 74,331,907
構築物	86,814,067	102,632,442	△ 15,818,375
車両運搬具	5	5	0
機械及び装置	195,788,355	173,610,827	22,177,528
器具及び備品	125,085,420	166,879,601	△ 41,794,181
リース資産	8,147,304	11,351,340	△ 3,204,036
電話加入権	1,500	40,500	△ 39,000
ソフトウェア	14,298,692	8,390,830	5,907,862
長期前払費用	10,837,301	0	10,837,301
その他固定資産合計	6,504,961,473	6,780,875,673	△ 275,914,200
固定資産合計	11,506,213,284	12,363,964,045	△ 857,750,761
資産合計	12,341,714,086	13,585,437,365	△ 1,243,723,279
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	298,980,379	581,372,408	△ 282,392,029
前受金	74,274,514	88,967,076	△ 14,692,562
預り金	3,190,000	0	3,190,000
1年以内返済予定長期借入金	501,655,000	538,070,000	△ 36,415,000
流動負債合計	878,099,893	1,208,409,484	△ 330,309,591
2. 固定負債			
長期借入金	487,679,150	989,334,150	△ 501,655,000
リース債務	8,147,304	13,578,840	△ 5,431,536
退職給付引当金	95,853,785	87,184,798	8,668,987
受入保証金	2,000,000	2,000,000	0
固定負債合計	593,680,239	1,092,097,788	△ 498,417,549
負債合計	1,471,780,132	2,300,507,272	△ 828,727,140
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産合計	500,000,000	500,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	（ 200,000,000 ）	（ 200,000,000 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 300,000,000 ）	（ 300,000,000 ）	（ 0 ）
2. 一般正味財産	10,369,933,954	10,784,930,093	△ 414,996,139
（うち基本財産への充当額）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 4,405,398,026 ）	（ 4,995,903,574 ）	（ △ 590,505,548 ）
正味財産合計	10,869,933,954	11,284,930,093	△ 414,996,139
負債及び正味財産合計	12,341,714,086	13,585,437,365	△ 1,243,723,279

【参考】貸借対照表内訳表（令和3年3月31日現在）

科 目	合 計	実施事業等会計		
		福岡国際会議場(継2)	福岡国際センター(継1)	特定寄附
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	693,610,118	107,687,017	43,810,971	0
未収金	138,218,601	109,720,742	39,276,593	0
前払金	8,132	0	0	
前払費用	3,663,951	2,040,509	1,055,862	
流動資産合計	835,500,802	219,448,268	84,143,426	0
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	200,000,000	0	0	
基本財産合計	200,000,000	0	0	0
(2) 特定資産				
運用基金	300,000,000	0	300,000,000	
退職給付引当資産	95,853,785	23,699,554	34,579,777	
減価償却引当資産	540,853,865	389,682,184	96,970,173	
修繕等積立資産	3,864,544,161	2,851,597,650	1,012,946,511	
特定資産合計	4,801,251,811	3,264,979,388	1,444,496,461	0
(3) その他固定資産				
建物	4,967,375,801	3,777,511,197	1,189,864,604	
建物付属設備	1,096,613,028	800,737,248	268,972,136	
構築物	86,814,067	64,323,704	12,626,793	
車両運搬具	5	3	0	
機械及び装置	195,788,355	52,031,049	140,763,586	
器具及び備品	125,085,420	83,289,010	29,425,485	
リース資産	8,147,304	0	0	
電話加入権	1,500	1,500	0	
ソフトウェア	14,298,692	4,974,912	4,661,889	
長期前払費用	10,837,301	7,141,782	3,695,519	
内部会計貸付金	0	0	0	
その他固定資産合計	6,504,961,473	4,790,010,405	1,650,010,012	0
固定資産合計	11,506,213,284	8,054,989,793	3,094,506,473	0
資産合計	12,341,714,086	8,274,438,061	3,178,649,899	0
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	298,980,379	176,436,051	34,286,808	0
前受金	74,274,514	15,623,838	18,855,246	
預り金	3,190,000	3,190,000	0	
1年以内返済予定長期借入金	501,655,000	373,705,000	127,950,000	
流動負債合計	878,099,893	568,954,889	181,092,054	0
2. 固定負債				
長期借入金	487,679,150	243,414,450	244,264,700	
リース債務	8,147,304	0	0	
退職給付引当金	95,853,785	23,699,554	34,579,777	
受入保証金	2,000,000	1,000,000	0	
内部会計借入金	0	4,542,737,697	1,023,600,000	
固定負債合計	593,680,239	4,810,851,701	1,302,444,477	0
負債合計	1,471,780,132	5,379,806,590	1,483,536,531	0
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄附金	500,000,000	0	300,000,000	
指定正味財産合計	500,000,000	0	300,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(300,000,000)	(0)	(300,000,000)	
2. 一般正味財産	10,369,933,954	2,894,631,471	1,395,113,368	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(4,405,398,026)	(3,241,279,834)	(1,109,916,684)	
正味財産合計	10,869,933,954	2,894,631,471	1,695,113,368	0
負債及び正味財産合計	12,341,714,086	8,274,438,061	3,178,649,899	0

(単位：円)

小 計	その他会計		法人会計	内部取引消去
	マリンメッセ福岡A館(他1)			
151,497,988	466,655,542		75,456,588	0
148,997,335	50,702,640		25,657,438	△ 87,138,812
0	0		8,132	0
3,096,371	0		567,580	0
303,591,694	517,358,182		101,689,738	△ 87,138,812
0	0		200,000,000	0
0	0		200,000,000	0
300,000,000	0		0	0
58,279,331	35,297,982		2,276,472	0
486,652,357	49,197,579		5,003,929	0
3,864,544,161	0		0	0
4,709,475,849	84,495,561		7,280,401	0
4,967,375,801	0		0	0
1,069,709,384	17,977,028		8,926,616	0
76,950,497	9,863,570		0	0
3	2		0	0
192,794,635	2,993,720		0	0
112,714,495	7,019,920		5,351,005	0
0	0		8,147,304	0
1,500	0		0	0
9,636,801	4,661,891		0	0
10,837,301	0		0	0
0	0		5,566,337,697	△ 5,566,337,697
6,440,020,417	42,516,131		5,588,762,622	△ 5,566,337,697
11,149,496,266	127,011,692		5,796,043,023	△ 5,566,337,697
11,453,087,960	644,369,874		5,897,732,761	△ 5,653,476,509
210,722,859	74,274,174		101,122,158	△ 87,138,812
34,479,084	39,795,430		0	0
3,190,000	0		0	0
501,655,000	0		0	0
750,046,943	114,069,604		101,122,158	△ 87,138,812
487,679,150	0		0	0
0	0		8,147,304	0
58,279,331	35,297,982		2,276,472	0
1,000,000	1,000,000		0	0
5,566,337,697	0		0	△ 5,566,337,697
6,113,296,178	36,297,982		10,423,776	△ 5,566,337,697
6,863,343,121	150,367,586		111,545,934	△ 5,653,476,509
300,000,000	0		200,000,000	0
300,000,000	0		200,000,000	0
(0)	(0)	(200,000,000)		0
(300,000,000)	(0)	(0)		0
4,289,744,839	494,002,288		5,586,186,827	0
(0)	(0)	(0)		0
(4,351,196,518)	(49,197,579)	(5,003,929)		0
4,589,744,839	494,002,288		5,786,186,827	0
11,453,087,960	644,369,874		5,897,732,761	△ 5,653,476,509

3 正味財産増減計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,916,000	1,916,000	0
基本財産受取利息	1,916,000	1,916,000	0
② 特定資産運用益	1,703,571	1,593,500	110,071
特定資産受取利息	1,703,571	1,593,500	110,071
③ コンベンション事業収益	390,478,323	1,831,909,439	△ 1,441,431,116
施設使用料収益	350,583,098	1,713,721,282	△ 1,363,138,184
受取負担金	39,895,225	118,188,157	△ 78,292,932
④ レストラン等事業収益	10,208,700	66,144,055	△ 55,935,355
レストラン収益	2,933,641	21,851,913	△ 18,918,272
自動販売機収益	5,745,300	40,417,858	△ 34,672,558
付帯設備設置料収益	1,529,759	3,874,284	△ 2,344,525
⑤ 駐車場事業収益	23,350,660	85,089,740	△ 61,739,080
駐車場事業収益	23,350,660	85,089,740	△ 61,739,080
⑥ 受取補助金等	551,794,520	560,477,218	△ 8,682,698
受取福岡市補助金	551,794,520	560,477,218	△ 8,682,698
⑦ 雑収益	74,842,082	916,576	73,925,506
受取利息	25,809	30,206	△ 4,397
還付消費税収益	35,007,175	0	35,007,175
雑収益	39,809,098	886,370	38,922,728
経常収益計	1,054,293,856	2,548,046,528	△ 1,493,752,672
(2) 経常費用			
① コンベンション事業費	1,321,603,663	1,756,988,645	△ 435,384,982
役員報酬	6,529,350	6,699,000	△ 169,650
給料手当	172,257,624	187,613,385	△ 15,355,761
退職給付費用	9,983,746	8,814,270	1,169,476
福利厚生費	28,521,162	30,861,479	△ 2,340,317
会議費	0	41,280	△ 41,280
旅費交通費	24,960	2,928,688	△ 2,903,728
通信運搬費	6,570,401	6,556,771	13,630
減価償却費	428,800,017	438,996,394	△ 10,196,377
消耗什器備品費	1,213,740	10,770,786	△ 9,557,046
消耗品費	7,226,299	11,397,971	△ 4,171,672
修繕費	53,157,390	120,691,299	△ 67,533,909
広告宣伝費	2,708,200	9,625,053	△ 6,916,853
印刷製本費	1,017,911	2,481,251	△ 1,463,340
燃料費	157,724	174,200	△ 16,476
光熱水料費	95,785,943	172,507,631	△ 76,721,688
賃借料	4,465,735	5,770,716	△ 1,304,981

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	2,320,163	1,543,950	776,213
租税公課	59,616,081	127,951,131	△ 68,335,050
支払負担金	441,335	1,166,440	△ 725,105
委託費	440,750,163	610,362,447	△ 169,612,284
貸倒損失	8,599	0	8,599
雑費	47,120	34,503	12,617
② レストラン等事業費	1,738,589	8,403,753	△ 6,665,164
修繕費	0	2,077,900	△ 2,077,900
光熱水料費	1,349,265	5,322,045	△ 3,972,780
委託費	389,324	1,003,808	△ 614,484
③ 駐車場事業費	14,163,220	36,320,352	△ 22,157,132
通信運搬費	18,611	22,623	△ 4,012
消耗品費	498,482	13,080	485,402
印刷製本費	199,980	524,460	△ 324,480
光熱水料費	2,088,476	225,385	1,863,091
賃借料	198,000	117,720	80,280
委託費	11,157,276	35,417,084	△ 24,259,808
雑費	2,395	0	2,395
④ 管理費	115,075,529	134,223,299	△ 19,147,770
役員報酬	14,730,050	14,472,150	257,900
給料手当	40,042,857	41,553,390	△ 1,510,533
臨時雇賃金	155,841	1,695,514	△ 1,539,673
福利厚生費	9,250,680	9,581,471	△ 330,791
被服費	0	716,696	△ 716,696
交際費	50,294	1,026,069	△ 975,775
会議費	123,180	245,010	△ 121,830
旅費交通費	143,958	1,109,877	△ 965,919
通信運搬費	2,056,697	2,186,197	△ 129,500
減価償却費	5,938,670	9,300,142	△ 3,361,472
消耗什器備品費	549,120	110,000	439,120
消耗品費	1,787,389	2,365,622	△ 578,233
修繕費	807,070	43,200	763,870
広告宣伝費	2,735,700	407,000	2,328,700
印刷製本費	1,404,488	1,876,171	△ 471,683
燃料費	2,872	13,823	△ 10,951
光熱水料費	1,537,022	0	1,537,022
賃借料	1,302,140	1,130,440	171,700
保険料	615,420	537,380	78,040
諸謝金	814,000	1,073,000	△ 259,000
租税公課	1,182,900	1,120,966	61,934
支払負担金	3,688,416	21,246,526	△ 17,558,110

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	12,170,115	2,158,937	10,011,178
支払利息	13,724,520	19,987,218	△ 6,262,698
雑費	262,130	266,500	△ 4,370
⑤ 寄附金	0	99,276,542	△ 99,276,542
福岡市寄附金	0	99,276,542	△ 99,276,542
経常費用計	1,452,581,001	2,035,212,591	△ 582,631,590
当期経常増減額	△ 398,287,145	512,833,937	△ 911,121,082
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 除却損失	16,708,994	56,514,448	△ 39,805,454
建物附属設備除却損	14,800,808	43,475,634	△ 28,674,826
構築物除却損	1,788,570	10,236,062	△ 8,447,492
機械及び装置除却損	0	467,407	△ 467,407
器具及び備品除却損	80,616	2,335,345	△ 2,254,729
電話加入権除却損	39,000	0	39,000
経常外費用計	16,708,994	56,514,448	△ 39,805,454
当期経常外増減額	△ 16,708,994	△ 56,514,448	39,805,454
当期一般正味財産増減額	△ 414,996,139	456,319,489	△ 871,315,628
一般正味財産期首残高	10,784,930,093	10,328,610,604	456,319,489
一般正味財産期末残高	10,369,933,954	10,784,930,093	△ 414,996,139
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	10,869,933,954	11,284,930,093	△ 414,996,139

【参考】正味財産増減計算書内訳表（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

科 目	合 計	実施事業等会計		
		福岡国際会議場(継2)	福岡国際センター(継1)	特定寄附
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,916,000	0	0	0
② 特定資産運用益	1,703,571	1,562,843	140,728	0
③ コンベンション事業収益	390,478,323	184,889,458	67,210,955	0
④ レストラン等事業収益	10,208,700	5,465,929	1,502,660	0
⑤ 駐車場事業収益	23,350,660	718,700	105,000	0
⑥ 受取補助金等	551,794,520	0	0	0
⑦ 雑収益	74,842,082	19,477,317	9,191,944	0
⑧ 引当金取崩額	0	6,502,655	0	0
経常収益計	1,054,293,856	218,616,902	78,151,287	0
(2) 経常費用				
① コンベンション事業費	1,321,603,663	652,752,264	365,512,846	0
② レストラン等事業費	1,738,589	1,409,720	0	0
③ 駐車場事業費	14,163,220	0	0	0
④ 管理費	115,075,529	0	0	0
経常費用計	1,452,581,001	654,161,984	365,512,846	0
当期経常増減額	△ 398,287,145	△ 435,545,082	△ 287,361,559	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 除却損失	16,708,994	14,855,323	1,803,571	0
経常外費用計	16,708,994	14,855,323	1,803,571	0
当期経常外増減額	△ 16,708,994	△ 14,855,323	△ 1,803,571	0
他会計振替額	0	116,515,453	149,874,453	0
当期一般正味財産増減額	△ 414,996,139	△ 333,884,952	△ 139,290,677	0
一般正味財産期首残高	10,784,930,093	3,228,516,423	1,534,404,045	0
一般正味財産期末残高	10,369,933,954	2,894,631,471	1,395,113,368	0
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	0	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	0	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	10,869,933,954	2,894,631,471	1,695,113,368	0

(単位：円)

小 計	その他会計	法人会計	内部取引消去
	マリンメッセ福岡A館(他1)		
0	0	1,916,000	
1,703,571	0	0	
252,100,413	138,377,910	0	
6,968,589	3,240,111	0	
823,700	22,526,960	0	
0	0	551,794,520	
28,669,261	5,489,472	40,683,349	0
6,502,655	0	96,757	△ 6,599,412
296,768,189	169,634,453	594,490,626	△ 6,599,412
1,018,265,110	309,937,965	0	△ 6,599,412
1,409,720	328,869	0	
0	14,163,220	0	
0	0	115,075,529	
1,019,674,830	324,430,054	115,075,529	△ 6,599,412
△ 722,906,641	△ 154,795,601	479,415,097	0
0	0	0	0
16,658,894	24,000	26,100	
16,658,894	24,000	26,100	
△ 16,658,894	△ 24,000	△ 26,100	
266,389,906	67,997,453	△ 334,387,359	
△ 473,175,629	△ 86,822,148	145,001,638	
4,762,920,468	580,824,436	5,441,185,189	
4,289,744,839	494,002,288	5,586,186,827	
0	0	0	
300,000,000	0	200,000,000	
300,000,000	0	200,000,000	
4,589,744,839	494,002,288	5,786,186,827	

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。
- ② 固定資産の減価償却の方法
ア 有形固定資産及び無形固定資産（リース資産を除く。）
定額法を採用している。
イ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。
- ③ 引当金の計上基準
退職給付引当金については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- ④ 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理については税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
運用基金	300,000,000	0	0	300,000,000
退職給付引当資産	87,184,798	16,583,158	7,914,171	95,853,785
減価償却引当資産	553,140,865	0	12,287,000	540,853,865
経営調整積立資産	392,487,288	0	392,487,288	0
修繕等積立資産	4,050,275,421	0	185,731,260	3,864,544,161
小 計	5,383,088,372	16,583,158	598,419,719	4,801,251,811
合 計	5,583,088,372	16,583,158	598,419,719	5,001,251,811

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	(200,000,000)	-	-
小 計	200,000,000	(200,000,000)	-	-
特定資産				
運用基金	300,000,000	(300,000,000)	-	-
退職給付引当資産	95,853,785	-	-	(95,853,785)
減価償却引当資産	540,853,865	-	(540,853,865)	-
経営調整積立資産	0	-	(0)	-
修繕等積立資産	3,864,544,161	-	(3,864,544,161)	-
小 計	4,801,251,811	(300,000,000)	(4,405,398,026)	(95,853,785)
合 計	5,001,251,811	(500,000,000)	(4,405,398,026)	(95,853,785)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	9,447,234,232	4,479,858,431	4,967,375,801
建物付属設備	5,231,256,623	4,134,643,595	1,096,613,028
構築物	550,129,031	463,314,964	86,814,067
車両運搬具	8,374,070	8,374,065	5
機械及び装置	529,799,614	334,011,259	195,788,355
器具及び備品	686,047,441	560,962,021	125,085,420
ソフトウェア	49,139,906	34,841,214	14,298,692
リース資産	27,157,680	19,010,376	8,147,304
合計	16,529,138,597	10,035,015,925	6,494,122,672

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益	参 考			
				額 面	利率(%)	受取利息	期間(年)
F304回地方金融機構債 (平成27年10月発行)	200,000,000	214,900,000	14,900,000	200,000,000	0.958	1,916,000	18
合計	200,000,000	214,900,000	14,900,000	200,000,000		1,916,000	

(6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
福岡国際会議場整備事業補助金	福岡市	0	420,315,006	420,315,006	0	-
福岡国際センター事業補助金	福岡市	0	131,479,514	131,479,514	0	-
合計		0	551,794,520	551,794,520	0	

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
	基本財産計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産	運用基金	300,000,000	0	0	300,000,000
	退職給付引当資産	87,184,798	16,583,158	7,914,171	95,853,785
	減価償却引当資産	553,140,865	0	12,287,000	540,853,865
	経営調整積立資産	392,487,288	0	392,487,288	0
	修繕等積立資産	4,050,275,421	0	185,731,260	3,864,544,161
小計	特定資産計	5,383,088,372	16,583,158	598,419,719	4,801,251,811

・経営調整積立資産の当期減少額は、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な減収に伴う財源補てんのため取崩したものである。

・修繕等積立資産の当期減少額は、修繕等の財源として取崩したものである。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	87,184,798	16,583,158	1,314,759	6,599,412	95,853,785

・当期減少額のうちその他については、人事異動に伴い福岡国際会議場会計及び法人会計の引当金必要額が減少したものである。

6 財産目録（令和3年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
流動資産	小口現金	手元保管	少額支払資金	47,429
	現金	手元保管	釣銭用資金及び駐車料金等	1,556,450
	普通預金	福岡銀行本店	運転資金として	486,478,868
		福岡銀行博多支店		35,481,853
		西日本シティ銀行本店		43,003,357
		西日本シティ銀行博多支店		17,846,213
		三井住友銀行福岡支店		109,105,949
		三菱UFJ銀行福岡中央支店		89,999
		小計		692,006,239
	未収金	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館、福岡国際センター及び法人	施設利用に係る使用料収入等	138,218,601
前払金	法人	ICカード（nimoca）残額	8,132	
前払費用	福岡国際会議場、福岡国際センター及び法人	火災保険料及び施設賠償保険料	3,663,951	
流動資産合計			835,500,802	
（固定資産）				
基本財産	投資有価証券	F304回地方金融機構債（平成27年10月発行）	財団の基本財産として	200,000,000
特定資産	運用基金	金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店	福岡国際センターの管理運営に係る有形固定資産の取得及び修繕費用に当てるため受け入れた資産	300,000,000
	退職給付引当資産	普通預金 福岡銀行博多支店	退職給付引当金の引当に備え積み立てた資産	95,853,785
	減価償却引当資産	普通預金 福岡銀行博多支店	器具及び備品、ソフトウェアの更新のために積み立てた資産	290,853,865
		定期預金 三井住友信託銀行福岡支店		50,000,000
		金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店		200,000,000
	小計		540,853,865	
	修繕等積立資産	普通預金 福岡銀行博多支店	財団施設の修繕、改良及び備品の更新のために積み立てた資産	864,544,161
		定期預金 西日本シティ銀行本店		700,000,000
		定期預金 三菱UFJ信託銀行福岡支店		300,000,000
		定期預金 三井住友信託銀行福岡支店		500,000,000
金銭信託 三菱UFJ信託銀行福岡支店			900,000,000	
金銭信託 三菱UFJ信託銀行福岡支店			500,000,000	
金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店			100,000,000	
小計		3,864,544,161		

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他 固定資産	建物	博多区築港本町2-2	福岡国際センター	1,189,864,604
		博多区石城町2-1	福岡国際会議場	3,777,511,197
	建物付属設備	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館、福岡国際センター及び法人	電気設備、空調設備、給排水設備、エレベーター設備等	1,096,613,028
	構築物	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館及び福岡国際センター	コンベンションゾーン暫定通路、外構、緑道等	86,814,067
	車両運搬具	福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡A館	けん引車輛、フォークリフト、高所作業車等	5
	機械及び装置	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館及び福岡国際センター	舞台せり上げ装置、吊物装置等	195,788,355
	器具及び備品	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館、福岡国際センター及び法人	大型映像装置、舞台照明器具、プロジェクター等	125,085,420
	リース資産	法人	パーソナルコンピュータ、公益法人会計システム	8,147,304
	電話加入権	福岡国際会議場	電話1回線	1,500
	ソフトウェア	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館及び福岡国際センター	施設予約管理システム等	14,298,692
	長期前払費用	福岡国際会議場及び福岡国際センター	施設火災保険料	10,837,301
固定資産合計				11,506,213,284
資産合計				12,341,714,086
(流動負債)				
	未払金	3月分電気料金、設備保守委託料、令和2年度事業所税等	施設の管理運営に係る令和2年度分支払等	298,980,379
	前受金	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館及び福岡国際センター	令和3年度施設使用料収入(予約金)等	74,274,514
	預り金	信和工業(株)	福岡国際会議場空調設備増設工事契約保証金	3,190,000
	一年以内返済予定長期借入金	日本政策投資銀行	国際会議場の建設費等及び福岡国際センターの改修費に係る借入金のうち、令和3年度返済予定元金分	185,800,000
		福岡銀行		156,205,000
		西日本シティ銀行		159,650,000
			小計	501,655,000
流動負債合計				878,099,893
(固定負債)				
	長期借入金	日本政策投資銀行	国際会議場の建設費等及び福岡国際センターの改修費に係る借入金	80,000,000
		福岡銀行		201,529,150
		西日本シティ銀行		206,150,000
			小計	487,679,150
	リース債務	法人	パーソナルコンピュータ、公益法人会計システム	8,147,304
	退職給付引当金	財団職員に対するもの	財団職員に対する退職金の支払いに備えたもの	95,853,785
	受入保証金	福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡A館	施設のレストラン運営委託に係る保証金	2,000,000
固定負債合計				593,680,239
負債合計				1,471,780,132
正味財産				10,869,933,954

7 収支計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当初予算額	最終予算額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,916,000	1,916,000	1,916,000	0
② 特定資産運用益	702,000	1,702,000	1,703,571	△ 1,571
③ コンベンション事業収益	1,937,415,000	456,737,000	390,478,323	66,258,677
④ レストラン等事業収益	69,478,000	10,472,000	10,208,700	263,300
⑤ 駐車場事業収益	148,978,000	25,335,000	23,350,660	1,984,340
⑥ 受取補助金等	551,795,000	551,795,000	551,794,520	480
⑦ 雑収益	147,000	47,986,000	74,842,082	△ 26,856,082
経常収益計	2,710,431,000	1,095,943,000	1,054,293,856	41,649,144
(2) 経常費用				
① コンベンション事業費	1,968,460,000	1,382,322,000	1,321,603,663	60,718,337
② レストラン等事業費	8,121,000	7,121,000	1,738,589	5,382,411
③ 駐車場事業費	61,755,000	18,622,000	14,163,220	4,458,780
④ 管理費	145,171,000	124,834,000	115,075,529	9,758,471
⑤ 寄附金	250,000,000	0	0	0
経常費用計	2,433,507,000	1,532,899,000	1,452,581,001	80,317,999
当期経常増減額	276,924,000	△ 436,956,000	△ 398,287,145	△ 38,668,855
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 除却損失	20,367,000	16,967,000	16,708,994	258,006
経常外費用計	20,367,000	16,967,000	16,708,994	258,006
当期経常外増減額	△ 20,367,000	△ 16,967,000	△ 16,708,994	△ 258,006
当期一般正味財産増減額	256,557,000	△ 453,923,000	△ 414,996,139	△ 38,926,861
一般正味財産期首残高	10,568,144,000	10,784,930,000	10,784,930,093	△ 93
一般正味財産期末残高	10,824,701,000	10,331,007,000	10,369,933,954	△ 38,926,954
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	11,324,701,000	10,831,007,000	10,869,933,954	△ 38,926,954

8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3章 令和3年度事業計画

1 事業計画

(1) 概要

一般財団法人福岡コンベンションセンター（以下「財団」という。）は、福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館及びB館、福岡国際センターを管理・運営する法人として、福岡市及び公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー（以下「コンベンションビューロー」という。）と連携して、長年にわたり、様々な国際会議や大規模な学術会議、展示会、世界的なスポーツ大会等のMICEの誘致・開催支援を行ってきた。

第4期指定管理者（令和元年度～令和5年度）として、①福岡市のMICE戦略への貢献、②マーケティング戦略に基づくMICE競争力の向上、③安全安心でユニバーサルな施設の提供、④事業の持続性の確保と財政負担の軽減・平準化、⑤法令遵守と公平・公正性を確保した管理運営の5つの方針に基づき、利用率及び顧客満足度のさらなる向上に向けて、財団が有するMICE誘致・運営のノウハウ等を活かし、適正かつ効果的、効率的な管理運営に取り組む。

また、国際会議や学術会議をはじめ、福岡市が重点分野として位置付けるMICEの誘致に取り組むことにより、福岡市の産業や地域観光の振興、市民文化の発展に貢献していく。

令和3年4月供用開始のマリンメッセ福岡B館の指定管理者として、新規利用者の獲得やリピーターの確保のため、誘致・開催支援を行い、利用率の向上を図る。

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により様々な催事が中止や延期されるなど、MICEを取り巻く環境は厳しい状況下にあるが、感染予防対策の徹底を図り、安全・安心な施設提供に努め、利用促進に取り組む。

(2) MICEの戦略的な誘致・営業

① 国際会議・学術会議の誘致

国際会議・学術会議の誘致は、MICE戦略上重要な取り組みであり、福岡市及びコンベンションビューローと共同運営する Meeting Place Fukuoka（以下「MPF」という。）において、中長期の視点に立って、マーケティング、ターゲットの選定、共同でのプロモーションなどを効果的に展開する。

また、これまでに構築してきた大学、関係機関等とのネットワークやMPFのネットワーク、福岡市MICEアンバサダー制度などのキーパーソンの活用も図っていく。

新型コロナウイルス感染症の影響により、医療従事者が集う学術会議や、世界中から関係者が集う国際会議の開催は困難であるものの、ハイブリッドでの開催などコロナ禍における誘致活動に取り組む。

② 新規・重点分野の催事の誘致・営業

既存催事の主催者であるリピーターをしっかりと確保していく必要があるが、それを踏まえつつ、新規催事の積極的な誘致・営業に取り組む。

また、福岡市のMICE戦略や市場性に合った誘致重点分野（新産業／クリエイティブ／食／医療・医学／スポーツ／アジア）については、地場産業の振興への寄与も期待される催事をターゲットにして、優先的に誘致・営業に取り組む。

③ リピーターの流出防止・定着化

財団が管理する施設の利用実績がある主催者については、毎年利用しているリピーターも多く、今後も継続的に利用していただけるよう営業活動を行っていく。

特に、令和3年度はマリンメッセ福岡A館及びB館においては、第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会の開催準備が予定されており、例年その期間利用しているリピーターが利用できなくなるため、次年度以降も再び財団が管理する施設を利用していただけるよう顧客流出防止に努めていく。

④ マリンメッセ福岡B館の活用

マリンメッセ福岡B館の供用開始に伴い、既存施設を含め催事規模に応じた施設の提供が可能となることから、効率的なスペースマネジメントを行い、機会損失の解消に努めるとともに、マリンメッセ福岡A館及びB館の相互利用による催事の拡大化や大型展示会の営業・誘致に取り組む。

また、全天候型のイベントスペースとして活用できるマリンメッセテラス（大屋根広場）を活用した、コンベンションゾーンの賑い創出を図っていく。

(3) 運営サービスの向上

① 催事運営のサポート

利用者の立場に立ち、各催事の目的の達成に向けて、催事内容や利用施設の特徴などを踏まえながら、サービスの提供を行い、顧客満足度の向上を図る。

また、複数施設を利用する主催者の負担軽減を図るため、ワンストップサービスを行うとともに、専門知識を有するスタッフとの連携による組織的なサポートを行う。

さらに、多くの来場者が見込まれる大規模催事の開催においては、来場者の誘導・案内、利用者車両の交通処理などの支援を行い、利用開始から終了まできめ細かな開催サポートに努める。

マリンメッセ福岡B館においても、これまで培ってきたノウハウを活かし、スタッフ及び施設間の連携による円滑な催事運営をサポートし、利用サービスの向上に努める。

② 新型コロナウイルス感染症を踏まえた催事運営のサポート

新型コロナウイルス感染症対策として、検温、手指の消毒、マスクの着用をはじめ、人と人との間隔の確保、十分な換気、不特定多数の人が触れる部分の消毒等の予防策を徹底するとともに、国及び福岡県の指針に基づいた施設利用ガイドラインを随時改定し、利用者が安全・安心に催事を開催できる環境を提供していく。

また、オンライン会議やハイブリッドでの開催が増加していることに伴い、国や福岡市が実施している各種支援策について情報提供を行うとともに、機材等の充実を図り、コロナ禍に対応した催事運営を支援していく。

(4) 施設の維持管理

経年に伴う老朽化に適切に対応して、施設の維持管理と安全性の確保を図るとともに、利用者に快適で利便性の高い施設を提供できるよう、各施設の保守管理、改修等を行う。

保守管理は、施設・機器等について専門の委託業者等による日常・定期点検の的確な履行、実施内容の確認を徹底し、予防保全に努める。

また、改修等については、長期保全計画に基づき設備機器更新や施設環境の改善を計画的に実施する。

新型コロナウイルス感染症対策としては、エスカレーターやエレベーター、トイレ等の不特定多数が触れる部分について適宜消毒を実施し、感染防止に努める。

(5) 安全対策・危機管理対策

日頃から、施設設備の点検や催事の主催者等へ施設利用方法の指導を徹底するなど、安全対策に努める。

自然災害や催事上の事故をはじめ、防火・防災その他の危機事案の発生時には、防災センターや主催者・関係者と十分な連携を図り、迅速、的確かつ組織的な対応を行う。

危機管理対応マニュアルなどの見直しを行うとともに、財団職員、防災センター職員等のほか、主催者の参加協力を得て、研修・訓練を実施する。

防災管理者等の資格取得や救急救命講習の受講などにより、職員等の防災知識・技術の向上に努める。

(6) 新たな取組み

① 広告事業の検討

新たな財源の確保を目的として、施設の共用スペース（ロビー、壁面等）に有料広告を掲載することについて、市場性や収益見込みを分析し、事業実施について検討する。

② 自主企画事業の実施

市民が多く集い、コンベンションゾーンをより身近に感じていただくとともに、地域経済の活性化及び施設利用率の向上を目的として、福岡市のMICE施策における重点分野の催事を自主企画事業として検討する。

③ 駐車場等を活用した新しい催事スタイルの確立

新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、3密（密集・密閉・密接）を避けるために施設内のみならず、駐車場等を活用したコンサート、ドライブインシアターなど屋外型イベントの利用提案を推進していく。

(7) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた取組み

新型コロナウイルス感染症の感染予防をしながら催事を開催するために、次のとおり取り組んでいく。

- ① 施設入口にサーマルカメラを設置し、入館時の検温を実施
- ② 施設入口を限定し、アルコール消毒液の設置
- ③ 利用者にホームページや施設内の掲示で感染予防等対策の呼びかけ
(手洗い、咳エチケット、マスク着用等の感染予防の徹底)
- ④ 福岡コンベンションセンターの職員及び施設管理を行う委託業者についても、
感染予防等対策を実施
(手洗い、咳エチケット、毎朝の検温、マスク着用等の感染予防の徹底)
- ⑤ 催事の主催者に最大収容人員数の遵守、人と人との間隔の確保、マスク着用の義務付け、発熱や体調不良のある場合の入場制限を依頼
- ⑥ 催事種別ごと(会議・展示会・コンサート)のガイドラインを随時改正し、催事種別ごとに感染症対策の指示・指導を実施
- ⑦ 催事後、施設の手すり、ドアノブ、エスカレーター、エレベーター等の不特定多数の者が触る部分について適宜消毒を実施
- ⑧ 施設内の各エスカレーターの手すりに紫外線による除菌装置の設置を検討
- ⑨ 財団ホームページ内にコロナウイルス特設ページを追加

なお、令和2年2月21日以降、同感染症拡大防止のため、施設利用の取り止めを行った場合は、納付済みの施設利用料金の返金を実施している。

2 収支予算書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 基本財産運用益	1,916	1,916	0
基本財産受取利息	1,916	1,916	0
② 特定資産運用益	1,350	702	648
特定資産受取利息	1,350	702	648
③ コンベンション事業収益	1,793,381	1,937,415	△ 144,034
施設使用料収益	1,640,818	1,801,664	△ 160,846
受取負担金	152,563	135,751	16,812
④ レストラン等事業収益	60,370	69,478	△ 9,108
レストラン収益	19,400	23,694	△ 4,294
自動販売機収益	37,147	41,754	△ 4,607
付帯設備設置料収益	3,823	4,030	△ 207
⑤ 駐車場事業収益	137,898	148,978	△ 11,080
駐車場事業収益	137,898	148,978	△ 11,080
⑥ 受取補助金等	509,920	551,795	△ 41,875
受取福岡市補助金	509,920	551,795	△ 41,875
⑦ 雑収益	149	147	2
受取利息	29	38	△ 9
還付消費税収益	0	1	△ 1
雑収益	120	108	12
⑧引当金取崩額	5,328	0	5,328
退職給付引当金取崩額	5,328	0	5,328
経常収益計	2,510,312	2,710,431	△ 200,119
（2）経常費用			
① コンベンション事業費	1,908,826	1,968,460	△ 59,634
役員報酬	7,124	6,699	425
給料手当	181,800	191,035	△ 9,235
退職給付費用	0	9,599	△ 9,599
福利厚生費	30,356	32,114	△ 1,758

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
会議費	147	137	10
旅費交通費	3,183	3,523	△ 340
通信運搬費	6,497	6,388	109
減価償却費	443,900	434,673	9,227
消耗什器備品費	4,763	12,218	△ 7,455
消耗品費	15,259	13,581	1,678
修繕費	104,224	154,228	△ 50,004
広告宣伝費	5,245	6,278	△ 1,033
印刷製本費	4,094	3,498	596
燃料費	510	498	12
光熱水料費	239,197	203,732	35,465
賃借料	1,425	6,019	△ 4,594
保険料	3,097	1,886	1,211
租税公課	100,013	192,155	△ 92,142
支払負担金	2,567	1,525	1,042
委託費	755,230	688,469	66,761
貸倒損失	50	100	△ 50
雑費	145	105	40
② レストラン等事業費	7,959	8,121	△ 162
修繕費	950	950	0
光熱水料費	5,934	6,049	△ 115
委託費	1,075	1,122	△ 47
③ 駐車場事業費	39,894	61,755	△ 21,861
通信運搬費	90	18	72
消耗品費	244	564	△ 320
修繕費	732	732	0
印刷製本費	204	405	△ 201
光熱水料費	6,065	7,709	△ 1,644
賃借料	215	159	56
委託費	32,244	52,068	△ 19,824
雑費	100	100	0

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
④ 管理費	101,553	145,171	△ 43,618
役員報酬	14,983	15,477	△ 494
給料手当	31,639	49,225	△ 17,586
臨時雇賃金	0	2,290	△ 2,290
退職給付費用	0	508	△ 508
福利厚生費	8,223	11,534	△ 3,311
被服費	80	0	80
交際費	1,345	1,103	242
会議費	300	300	0
旅費交通費	1,643	2,085	△ 442
通信運搬費	2,281	2,428	△ 147
減価償却費	8,604	9,816	△ 1,212
消耗什器備品費	100	230	△ 130
消耗品費	2,506	2,684	△ 178
修繕費	200	200	0
広告宣伝費	0	3,871	△ 3,871
印刷製本費	1,287	2,436	△ 1,149
燃料費	15	25	△ 10
賃借料	1,339	1,252	87
保険料	740	700	40
諸謝金	1,732	1,732	0
租税公課	1,353	1,512	△ 159
支払負担金	11,524	12,450	△ 926
委託費	2,943	9,231	△ 6,288
支払利息	8,265	13,725	△ 5,460
雑費	451	357	94
⑤ 寄附金	170,000	250,000	△ 80,000
福岡市寄附金	170,000	250,000	△ 80,000
経常費用計	2,228,232	2,433,507	△ 205,275
当期経常増減額	282,080	276,924	5,156

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 除却損失	5,827	20,367	△ 14,540
建物附属設備除却損	3,827	16,551	△ 12,724
構築物除却損	0	1,789	△ 1,789
器具及び備品除却損	2,000	2,027	△ 27
経常外費用計	5,827	20,367	△ 14,540
当期経常外増減額	△ 5,827	△ 20,367	14,540
当期一般正味財産増減額	276,253	256,557	19,696
一般正味財産期首残高	10,331,007	10,568,144	△ 237,137
一般正味財産期末残高	10,607,260	10,824,701	△ 217,441
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000	500,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	500,000	0
III 正味財産期末残高	11,107,260	11,324,701	△ 217,441

【参考】収支予算書内訳表（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	予算合計	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引消去
		福岡国際会議場	福岡国際センター	特定寄附	小計	マリンメッセ福岡A館	マリンメッセ福岡B館	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
（1）経常収益										
① 基本財産運用益	1,916	0	0	0	0	0	0	0	1,916	0
② 特定資産運用益	1,350	1,280	70	0	1,350	0	0	0	0	0
③ コンベンション事業収益	1,793,381	415,503	291,679	0	707,182	830,913	255,286	1,086,199	0	0
④ レストラン等事業収益	60,370	24,227	8,749	0	32,976	22,386	5,008	27,394	0	0
⑤ 駐車場事業収益	137,898	7,076	1,528	0	8,604	123,231	6,063	129,294	0	0
⑥ 受取補助金等	509,920	0	0	0	0	0	0	0	509,920	0
⑦ 雑収益	149	20,190	1	0	20,191	26	1	27	1,633	△ 21,702
⑧引当金取崩額	5,328	6,143	12,592	0	18,735	13,310	0	13,310	0	△ 26,717
経常収益計	2,510,312	474,419	314,619	0	789,038	989,866	266,358	1,256,224	513,469	△ 48,419
（2）経常費用										
① コンベンション事業費	1,908,826	845,918	391,550	0	1,237,468	482,874	236,604	719,478	0	△ 48,120
② レストラン等事業費	7,959	5,948	0	0	5,948	2,011	0	2,011	0	0
③ 駐車場事業費	39,894	0	0	0	0	36,654	3,240	39,894	0	0
④ 管理費	101,553	0	0	0	0	0	0	0	101,852	△ 299
⑤ 寄附金	170,000	0	0	170,000	170,000	0	0	0	0	0
経常費用計	2,228,232	851,866	391,550	170,000	1,413,416	521,539	239,844	761,383	101,852	△ 48,419
当期経常増減額	282,080	△ 377,447	△ 76,931	△ 170,000	△ 624,378	468,327	26,514	494,841	411,617	0
2. 経常外増減の部										
（1）経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用										
① 除却損失	5,827	3,327	1,000	0	4,327	1,000	0	1,000	500	0
経常外費用計	5,827	3,327	1,000	0	4,327	1,000	0	1,000	500	0
当期経常外増減額	△ 5,827	△ 3,327	△ 1,000	0	△ 4,327	△ 1,000	0	△ 1,000	△ 500	0
他会計振替額	0	425,725	△ 22,202	170,000	573,523	△ 740,130	△ 22,203	△ 762,333	188,810	0
当期一般正味財産増減額	276,253	44,951	△ 100,133	0	△ 55,182	△ 272,803	4,311	△ 268,492	599,927	0
一般正味財産期首残高	10,331,007	2,862,469	1,373,492	0	4,235,961	508,823	0	508,823	5,586,223	0
一般正味財産期末残高	10,607,260	2,907,420	1,273,359	0	4,180,779	236,020	4,311	240,331	6,186,150	0
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000	0	300,000	0	300,000	0	0	0	200,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	0	300,000	0	300,000	0	0	0	200,000	0
III 正味財産期末残高	11,107,260	2,907,420	1,573,359	0	4,480,779	236,020	4,311	240,331	6,386,150	0